

ハイカイ大会

ホ語で、熱一層高まる

「ホ語による俳句大会」
第二回ブラジル・ハイ
カイ大会が、十七日午後



七時から十時まで、ベル
ゲイロのサンパウロ市立
文化センターでおこなわ
れる。

ブラジルにおける、ホ
語によるハイカイ熱は次
第に高まってきている。
一九二八年にA・ペイシ
ョト氏によってはじめて
俳句が紹介され、その後
ベジャ誌に詩人ミラー・
フェルナンデス氏が「ハ
イカイ」を発表、この言
葉が定着した。また、日
文連の創立者の一人であ
るギレルメ・デ・アルメ
イダ氏もホ語による俳句
を普及した一人といわれ
る。

第一回の昨年は、三百
人のブラジル人が参加、
うち七〇％が非日系人だ
った。三百人のうち百人
が作句した。

今回の大会は、つぎの
四部からなる。①ハイカ
イについての講演。講師
大会をPRする坂口
代表、半田編集長、
ロドルフォさん

は半田フランシスコ・ポ
ルタル誌編集長、パウロ
・レミンスキー氏（詩人
）。②コンクール。審査
員は斉藤ロベルト氏、パ
ウロ・コリナ氏（詩人）
アリセ・ルイズ氏（詩人
）、オルガ・サバリ氏（
詩人）、河井美津子氏（
ほん訳家）、パウロ・レ
ミンスキー氏。コンクル
ルの間、テアトロ・ポン
カンおよびS・アキラに
よるハイカイパフォーマンス
とハイカイミュージ
ックの上演。③芭蕉につ
いての講演。講師は鈴木
梯一氏（USP日文研前
所長）、デシオ・ピグナ
タリ氏（詩人）。④コン
クール入賞発表。

なお大会の主催者はポ
ルタル誌（月刊日伯文化
情報誌、坂口功治代表）
後援は日文連、南米銀行
日本航空、ニッケイパラ
セ・ホテル。

坂口代表は十日、「ブ
ラジルにおけるハイカイ
の理解者は年ごとにふえ
ていて心強い。大会を開
催するとなると、費用も
小さくない。企業の後援
があるのがありがたい。
これがないわけばできない
と語った。

SIX PUCKO - SHIMBUN

10-10-87